

**patagonia<sup>®</sup>**

2021年4月9日（金）

**繊維産業のサステナビリティに関する検討会  
資源循環**

パタゴニア日本支社 環境社会部  
ブランド・レスポンシビリティ・マネージャー 篠健司

# パタゴニア社について

【本社】 米国カリフォルニア州（1973年設立）

【日本支社】 神奈川県横浜市（1988年設立）

【事業内容】 機能的なアウトドア用品の製造・販売。  
1985年から売上の1%を環境団体に寄付。

【ミッション・ステートメント】

## 私たちは、故郷である地球を救うためにビジネスを営む。

当社は定款において、「**最高の製品を作る**」こと、「**不必要な悪影響を引き起こさない**」ことを義務付けており、製品デザインから直営店の運営方法に至るまで、**当社の行いすべてにおいて、インパクトを減らし、ポジティブな環境アクションを呼び起こす手段として会社を使う**ことを目指しています。

patagonia®



Explore Topics ▾

News & Stories

Get Involved

Home / News and Stories / Press release

24 SEP 2019 | PRESS RELEASE | CLIMATE CHANGE

## US outdoor clothing brand Patagonia wins UN Champions of the Earth award

「今日の最も緊急性の高い環境問題に対するパタゴニアのサステナビリティと環境活動を通して、パタゴニアは気候変動、生物多様性の消失、その他の人類と地球の健全性への脅威に対する戦いにどのように民間企業が参加できるかのとても良い事例を提供してくれている。」

国連環境計画 事務局長インガー・アンダーセン

ミッション・ステートメントの背景:

気候危機は、もはや予測ではありません。

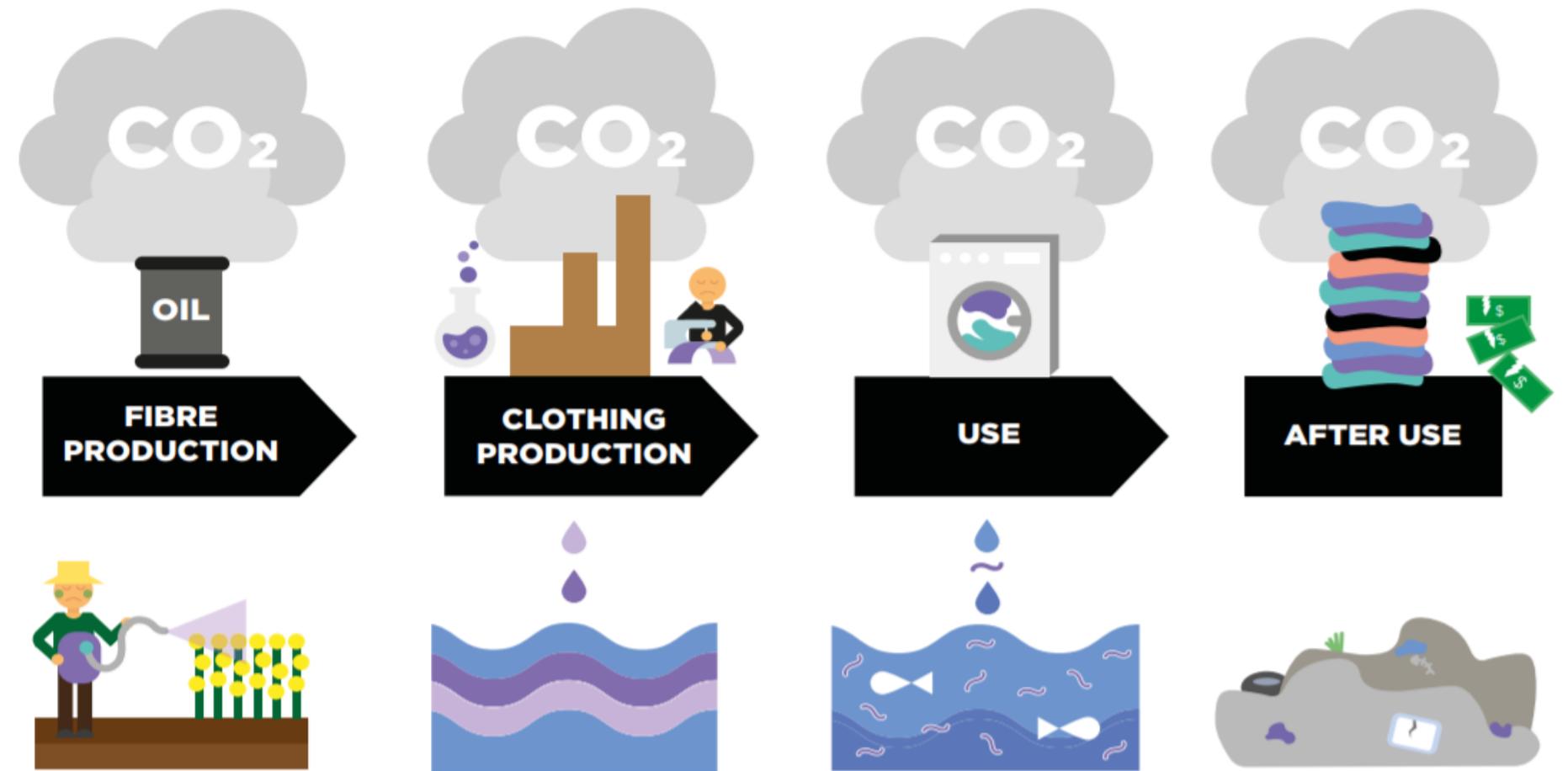
地球温暖化を1.5°Cに抑えるための行動を迅速に起こさなければなりません。

# 繊維産業と気候危機：

衣料品業界は気候危機の原因となる汚染の最大**10%**を占めています。

そしてその労働者は、世界で最も低賃金。

**FIGURE 2:** TODAY'S CLOTHING SYSTEM PUTS PRESSURE ON RESOURCES, POLLUTES THE ENVIRONMENT, AND CREATES NEGATIVE SOCIETAL IMPACTS



当社も気候危機に加担しています。

当社の企業としての総二酸化炭素排出量の約86%が、製品に使用される素材の製造に由来する。

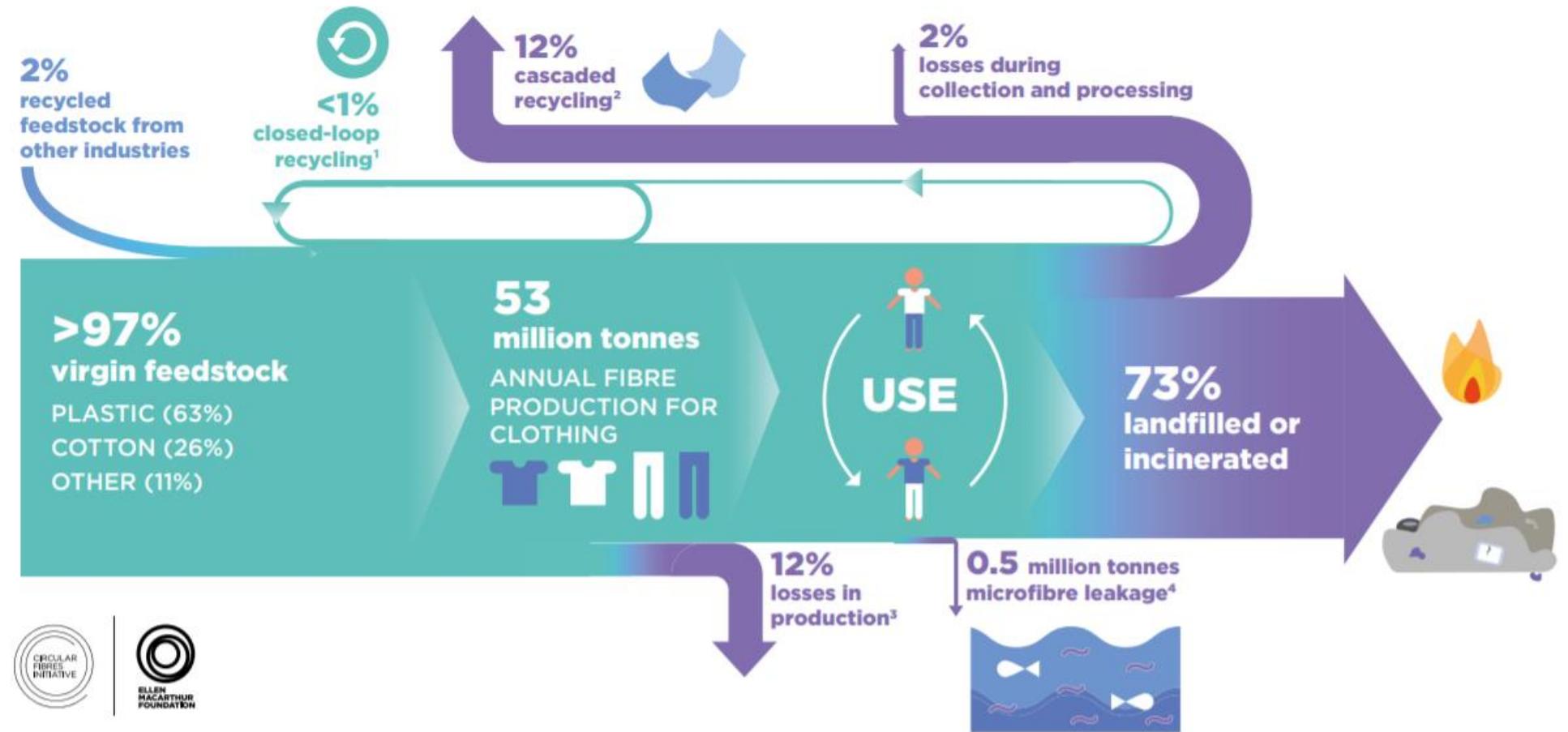
## 当社のカーボン・ニュートラル目標

2025年までに、サプライチェーンを含むパタゴニアの事業全体でカーボン・ニュートラルを達成する。

## 繊維産業と廃棄物：

衣料品に使用される総繊維投入量のうち、**87%**は使用後に焼却または埋め立て処分されています。

FIGURE 3: GLOBAL MATERIAL FLOWS FOR CLOTHING IN 2015



- 1 Recycling of clothing into the same or similar quality applications
- 2 Recycling of clothing into other, lower-value applications such as insulation material, wiping cloths, or mattress stuffing
- 3 Includes factory offcuts and overstock liquidation
- 4 Plastic microfibres shed through the washing of all textiles released into the ocean

Source: Circular Fibres Initiative analysis - for details see Appendix B

## 当社の素材調達における環境目標

2025年までに、当社のすべてのアパレル製品は、再生可能な（原材由来の）素材、リサイクル素材、あるいはリクレイムド素材のみを使用します。

2030年までにパタゴニア製品に使用されるコットンおよびヘンプ繊維を100%リジェネラティブ・オーガニック認証（ROC）の素材を使用します。

# 可能な限りリサイクル素材を取り入れ、あらゆる機会ですーキユラー・エコノミー(循環型経済)の実践

## 製造ライン全体を通して使用する推奨素材

- 天然繊維 (再生可能な原材料由来)

ヘンプ、オーガニック・コットン、テンセル®リヨセル、ユーレックス (FSC認証を受けたハベア由来の天然ゴム)、ダウン (トレーサブル・ダウン認証)、ウール (責任あるウール基準)

- リサイクル繊維 :

リサイクル・ナイロン、リサイクル・ポリエステル、リクレイムド・コットン (再生コットン)、リサイクル・ウール、リサイクル・カシミア、リサイクル・ダウン

2021年秋までに当社が使用する素材の90%以上が、トレーサブル、リサイクルまたはオーガニックになる予定。

**patagonia®**

今シーズンのパタゴニア製品の素材の68%がリサイクル原料で作られています

\* 2020年秋冬シーズン



パタゴニア製品のために栽培されるコットンの100%が有機農法

パタゴニア製品はトレーサブル・ダウンを100%使用



# 当社の代表的なリサイクル繊維

## リサイクル・ポリエステル

### 問題:

世界の衣料品の60%が石油を原料とするポリエステルを使用しており、リサイクル・ポリエステルの使用は石油への依存を削減できる。さらに、廃棄物の活用は、製造段階の温室効果ガスの排出量を削減に寄与し、さらに着古したポリエステル製品の循環の推進を支える役割を果たす。

### 現在の取り組み:

2020年春夏シーズン、ポリエステル生地80%にリサイクル・ポリエステルを使用。バージン・ポリエステルを使用した場合と比較し、カーボン・フットプリントを7%削減。

### 次の展開:

リサイクル海洋プラスチックを選択肢のひとつとして、また、長期的にはリサイクル衣類のケミカル・リサイクル技術を視野にいれている。

**patagonia**



### ナノパフ・ジャケット

P.U.R.E. (Produced Using Reduced Emissions) テクノロジーを採用し、消費者から回収されたリサイクル・ポリエステル100%の中綿素材を、リサイクル・ポリエステル100%のシェルと裏地で包み、フェアトレード・サーティファイドの縫製を採用。

# 当社の代表的なリサイクル繊維

## NetPlus® リサイクル・ナイロン

### 問題:

全世界で毎年880万トンのプラスチック廃棄物が海に流出しており、その中で廃棄漁網はの最も有害であり、科学者の推定では、65万以上の海洋生物が漁網に捕らわれ、生命を奪われる、あるいは重大な怪我をしている。

### 取り組み:

当社の社内ベンチャー投資基金の投資先であるブレオ社が開発したリサイクル原料100%のナイロンペレット

「NetPlus®」は、南米の漁業コミュニティから回収した使用不能となった漁網を原料としている。

### 次の展開:

現在は帽子のつばの素材をして使用しており、より多くの製品にNetPlus®リサイクル・ナイロンを採用していく。



35 トン

使用済みの漁網を帽子のつばに再利用することにより、今年だけで35トン近くもの有害な廃棄物が海に流出することを防いでいます。

# 当社の代表的なリサイクル繊維

## リサイクル・コットン

### 問題:

慣行農法のコットン1ポンドの生産にはおよそ655リットルの水を必要とする。さらに、土壌の耕作、栽培、収穫段階におけるカーボン・フットプリントが加わり、多大な環境コスト（外部不経済）が発生している。

### 現在の取り組み:

当社のサプライチェーン・パートナーは、縫製工場が発生した品質基準を満たす端切れを使用し、新しい糸に再び紡糸。リサイクル・コットンの大半はリサイクル・ポリエステルと混紡されており、2020年春夏シーズンでは、コットン製品の22%に使用。

### 次の展開:

リサイクル・コットンをより多く使用することを可能とする新技術を開発中。

**patagonia**



ロングスリーブ・パステル・P-6ロゴ・レスポンシビリティ

4.8本のペットボトルと136グラムのコットンの端切れを原料とするリサイクル素材を100%使用したこの長袖のTシャツは、一般的なコットン製Tシャツに比べて水の使用量を96%、二酸化炭素の排出量を45%削減。フェアトレード・サーティファイドの縫製を採用。

# その他の素材の循環型の取り組み

## リサイクル・ポリウレタン

ポリウレタンの廃棄物は製造過程での副産物として発生。この廃棄物となった素材を製造ラインから回収し、原料生産の段階に再入させたリサイクル・ポリウレタンを2020年に初めて製品ラインで使用。

## リサイクル・ダウン

2020年秋冬シーズン、パタゴニアの製品ラインでは54製品がリサイクル・ダウンを使用。バージン・ダックダウンと比較して、中綿素材1kg当たりのカーボンフットプリントを31%削減。

## リサイクル・ウール

工場から出る端切れなどのプレコンシューマーおよび回収衣類などのポストコンシューマーからリサイクル・ウールを調達。2020年春夏シーズンでは、パタゴニアのウールの生地19%はリサイクル・ウールで製造。

## リサイクル・カシミヤ

カシミアは繊維として業界全体で広範囲に採用され、カシミア山羊の過放牧と繊維品質の劣化、モンゴル地方の砂漠化の要因になっている。プレコンシューマーの端切れをヨーロッパの工場から収集し、5%のバージン・ウールを混紡し、2017年からカシミヤ製品に使用。

## テンセル®リヨセル

テンセル・リヨセルを使用するメリットは、木材パルプの原産地がトレーサブルで持続可能であること、溶剤と水のリサイクル・プロセスがクローズドループで行われていることです。当社の目標はパタゴニア製品に使用されるテンセル繊維すべてにバージン原料ではなくセルロース廃棄物由来を採用すること。

# ティーサイクル・Tシャツ – ライフサイクル全体を意識した試み

今まで:

ここ数年、当社はリサイクル素材の使用を最優先してきた。

循環型の核心:

究極的には、循環型の核心は製品の引き取りプログラムではなく、製品がそもそもどのようにコンセプト化されているかを再考すること。

## ティーサイクル・Tシャツ

2022年春、製造段階で発生して機械的に再生されたプレコンシューマー・リサイクル・コットンと、消費者から回収して化学的に再生されたポストコンシューマーリサイクル・コットンを混紡し、バージン繊維と同等の品質を実現した素材からTシャツを製造し、販売予定。

patagonia®

「ブランドは、  
『これがどこから  
来て次にどこへ行  
くのか』を問いつ  
づけなければなり  
ません。」

ニコール・バセット  
The Renewal Workshop 共同創設者

## お客様とのパートナーシップ

消費者として地球のために私たちができる最善の行動は、適切な手入れと修理によってモノを長持ちさせること。

## Worn Wear プログラム

当社製品をより長く使っていただくためのプラットフォーム。

1. まずは消費を減らす。
2. 必要ないものは買わない。
3. 次は修理。
4. まだ使えるものは直して使う。
5. または再利用したり、共同使用することもできる。
6. そしてついにこれらの選択肢がなくなったとき、リサイクルすること。

patagonia®

WORN  WEAR



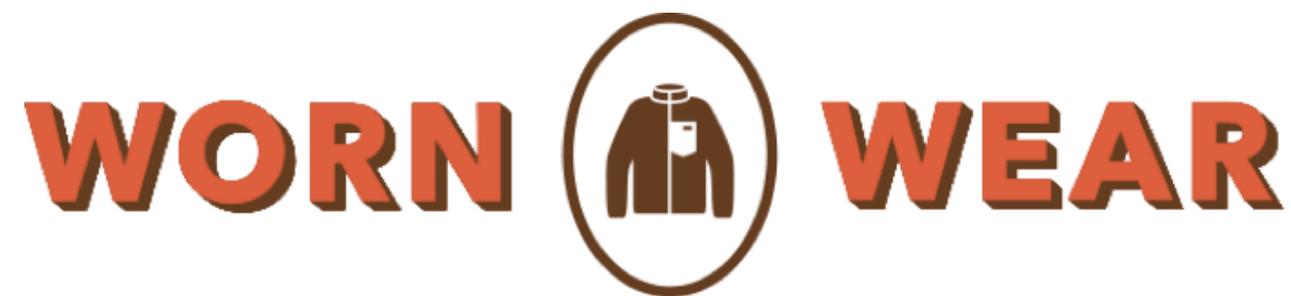
衣類の寿命をわずか9か月間伸ばすことにより、炭素排出、水の使用、廃棄物のフットプリントを20%~30%削減できる。  
(英/The Waste and Resources Action Programme)

# リペア・プログラム

直営リペアセンター（国内2カ所）

製品のお手入れと修理の方法のご案内

オンライン修理ガイドは、iFixitとのパートナーシップで構築。



## Worn Wear ツアー

2019 Snow Tour（全国8スキー場、メーカー問わず550着修理）

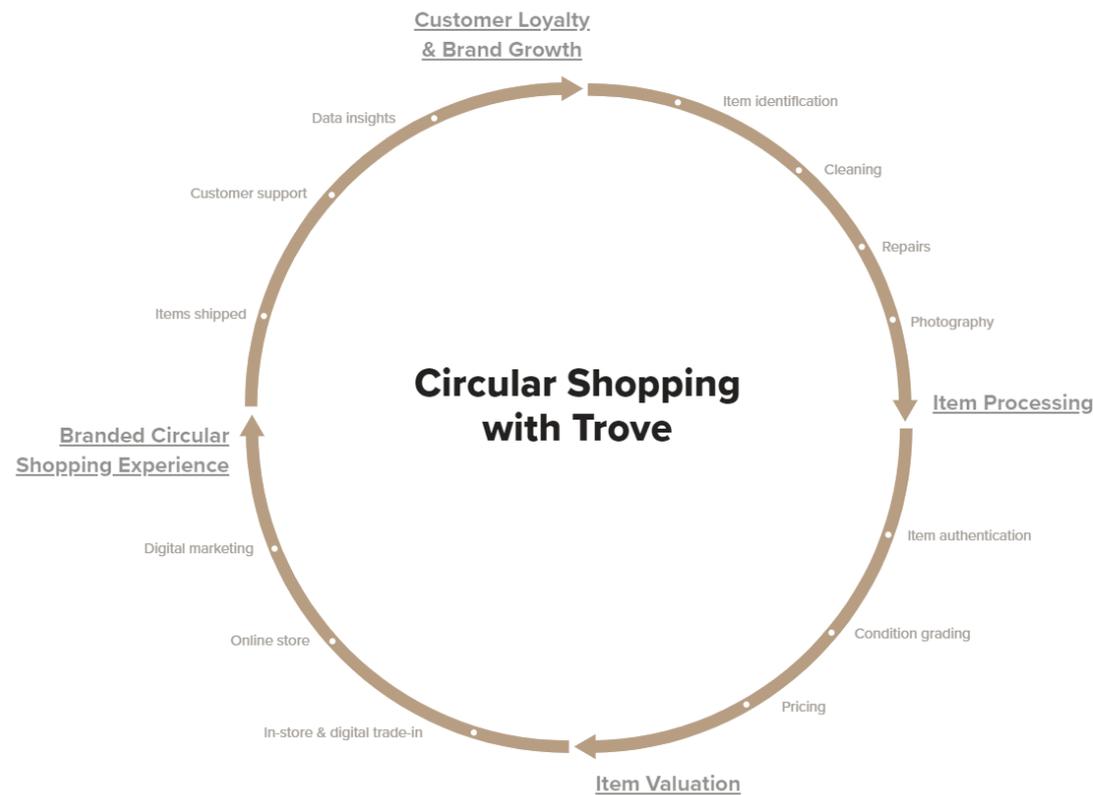
2019 College Tour（全国11大学、793着修理）

**patagonia**

# リコマース・プログラム

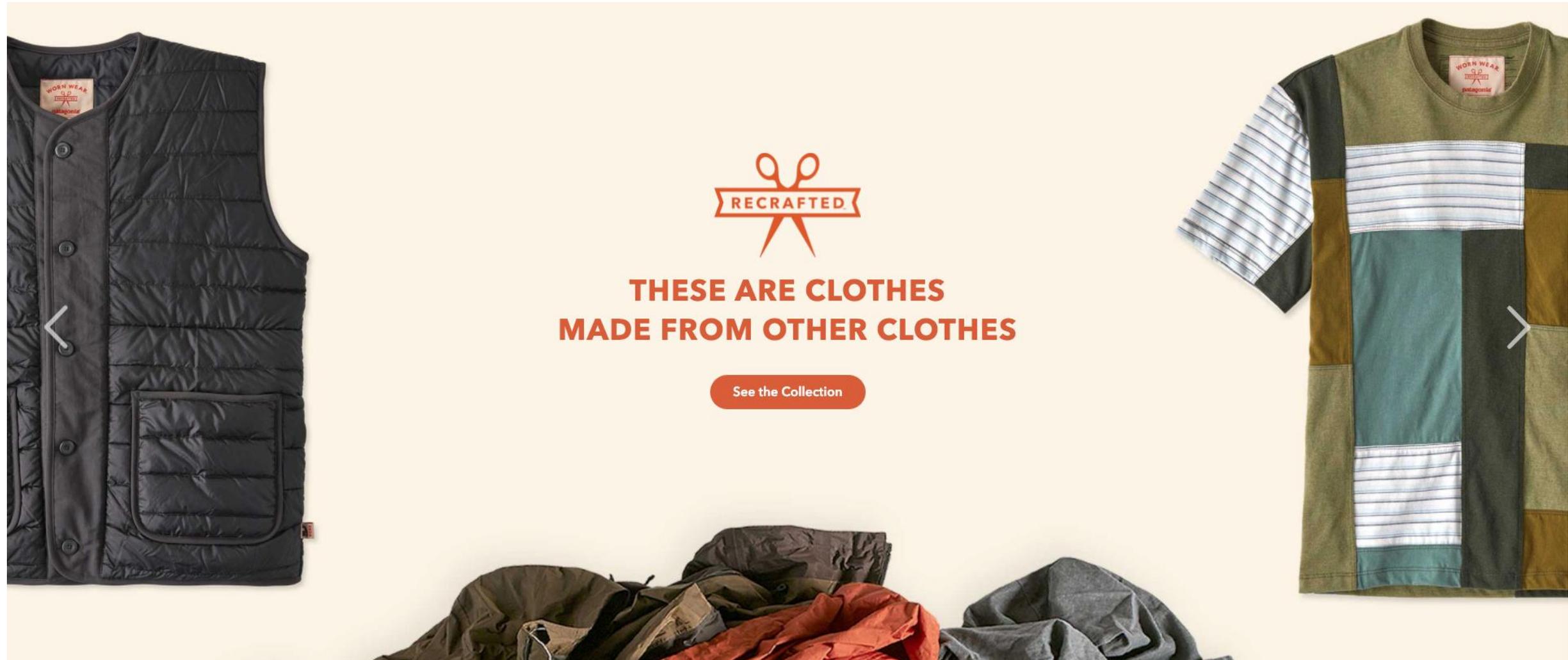
## 買い取り（日本支社では現在未実施）

機能的に支障がなく、良好な状態の製品に限定して使用済みの当社製品を買い取りし、当社ベンチャー投資基金の投資先「Trove」が構築した循環型プラットフォームを活用した専用サイトを通じて販売。製品の種類に応じて発行される定額クーポンは直営店やオンラインサイトで利用できる。



# アップサイクル・プログラム

使用済み製品を素材としてアップサイクル  
（日本支社では現在未実施）

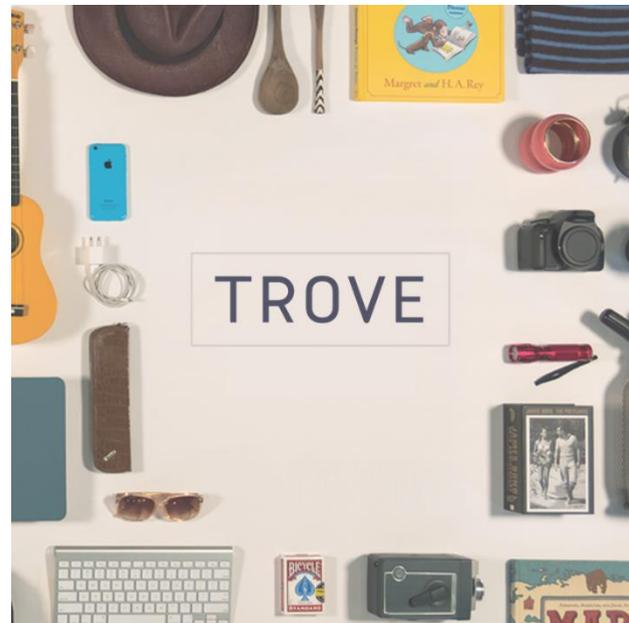


# 投資: ティンシェッド・ベンチャーズ

次世代の責任あるビジネスに投資することを目的とするベンチャー基金。現在までに12の企業に資本を提供し、資源循環を含む環境・社会に貢献する技術、仕組みのイノベーションを加速。



patagonia®



もし素材もエネルギーも汚染の原因となるにもかかわらず、企業が依然としてお客様に製品を提供する必要がある場合、循環型に近づくための明白な解決策は、「作るものを減らす」ことです。

製品数に上限を定めるのは、利益に斧を振りおろすように聞こえるかもしれませんが。しかし、サーキュラーエコノミーに必要なのは、同じ製品から利益を生み出し、また実際にウールよりも安く製造できるリサイクル・ウールのような素材に乗りだすことです。